



NETIS登録番号 CG-240003-A

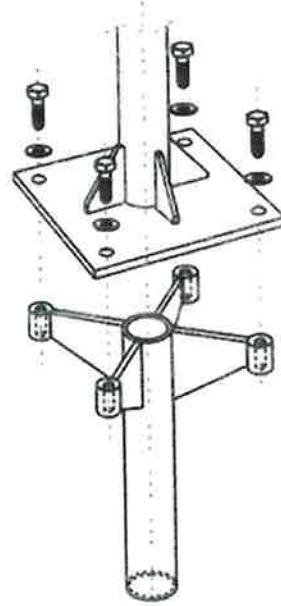
ポール簡単埋設台座

「埋め座くん」

特許番号 特許第6452056号 平成30年12月21日
商標登録 登録第6003492号 平成29年12月15日

ポール簡単埋設台座「埋め座くん」 一道路標識ポールの交換が容易になる埋設台座一

公共工事の道路標識設置工（単柱型）に適用可能な新しい技術です。従来はアンカーボルト方式による固定が一般的でしたが、道路標識のポール部と地中の基礎部分を分けたことで、地上のポール部の交換を容易行うことができます。



「埋め座くん」導入のメリット

- ◇上部のポールが簡単に交換できる。
- ◇施工が容易(時間の短縮可能)
- ◇コンクリートが少なくて済む。
- ◇叩き込みだけで設置も可。
- ◇芯出しも容易
- ◇基礎の手抜きがしにくい。

「埋め座くん」の特徴

「埋め座くん」の使用例を、図1に示します。代表的な道路標識の設置方法としては、図2のようなものがあり、アンカーボルト方式による工法は「埋め座くん」とよく似ておりますが、「埋め座くん」では道路標識のポール部と地中の基礎部分が分けられています。



図1「埋め座くん」使用例

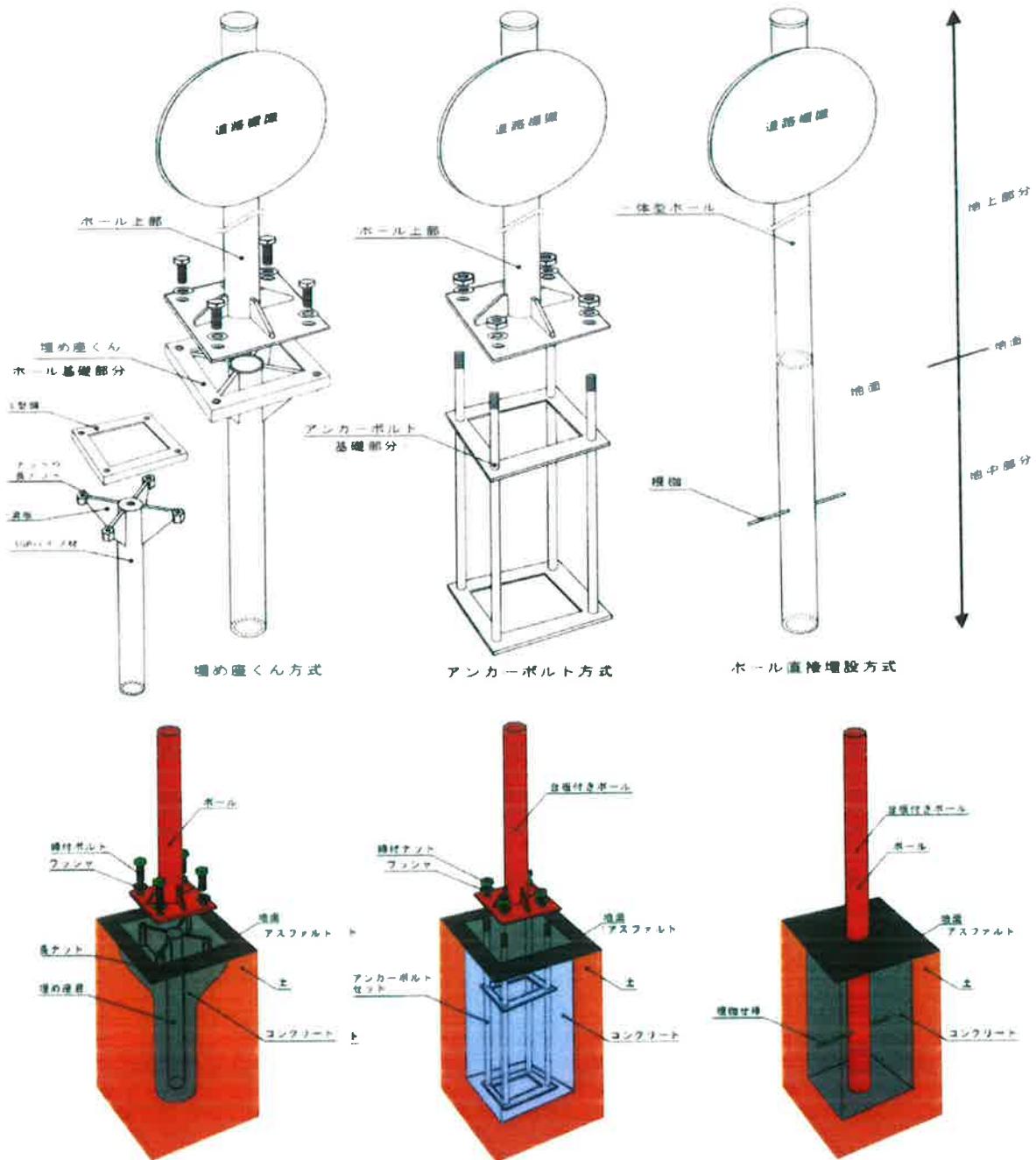


図2 代表的な道路標識の設置工法

新技術「埋め座くん」による施工状況の例を、図3に示します。アンカーボルト方式と比べてもわかりますように、「埋め座くん」による工法は、基礎形状が小さく製品単価が安価になるとともに、ポール部と地中の基礎部を分けたことで、以下に記載しますように経済性が向上します。



図3 新技術「埋め座くん」による施工状況の例

- 支柱などの地上部や取り付けボルトが損傷した場合には、基礎部のやり替えを行うことなく、地上部やボルトを交換することで短時間に復旧することができます。
- 設置または復旧にかかる作業時間が短かいため、交通規制等も短時間ですみ、周辺地域の生活に与える影響も少なくすることができます。
- 公的検査機関における各種試験の結果、従来技術のアンカーボルト方式と同等の耐久性を有しており、現在広く設置されている道路標識、監視カメラ等の小型構造物の設置に適用が可能です。
- 従来技術のアンカーボルト方式と比較した場合、地上部のボルト突出高さが低く、外観、安全性ともに優れています。
- 図4に示しますように、設置環境にあわせた各種の「埋め座くん」を容易しております。また、ポールで設置する小型構造物以外にも、多様な地上部機器等の取付に対応した設計が可能です。

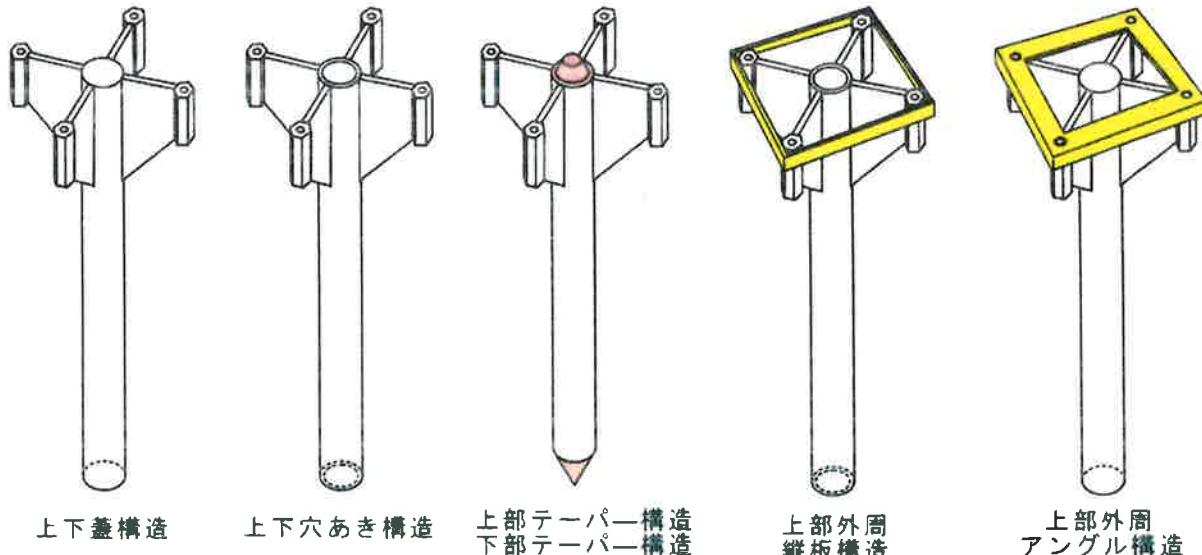


図4各種の「埋め座くん」

※ 埋め座くん

品質性能試験（財団法人 建材試験センター）

平成29年 4月28日 基礎埋設金具の鉛直引張及び水平加力試験

やり替えくん・・・特許出願中

商標登録申請中

新技術「埋め座くん」の施工性、施工方法、施工費用、施工コストならびに施工実績などの詳細については、NETIS(新技術情報提供システム <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>)でご確認ください。

[問合せ先]

スミコ商事

〒730-0013 広島市中区上八丁堀8-26-504

代 表：宮下 則彦

電話 082-223-1100

FAX 082-223-1111

e-mail : s0822217993@lagoon.ocn.ne.jp

URL : <https://sumiko-co-umeza.jimdofree.com>